

子どもたちの考えを尊重し
一人ひとりの個性を伸ばしたい。



在学生 メッセージ

※インタビューは、2020年3月～6月に行ったものです。

教育学部【学校教育課程】
幼小発達教育コース 3年次
相川真里香さん（山梨県出身）

細やかな気配りのできる教師に

子どもの頃から先生に憧れ、将来は小学校の教師になりたいと考えていました。山梨大学を選んだのは、小学校と幼稚園、両方の教員の免許が取れることに魅力を感じたからです。大学で学び始めると、教師には目に見えない仕事や沢山あることがわかりましたし、授業や会話を通して、子どもたちの性格や考えを把握することが大切なのだと思うようになりました。将来は、子どもたちに細やかに気を配り、考えを尊重し、一人ひとりの個性を伸ばす教師になりたいと思っています。

学ぶことの多いグループワーク

山梨大学は少人数で、私たちの学科は20人ですから、先生にも質問しやすく、学科の友だちともすぐ仲良くなれます。また、グループワークが多いのも利点だと思います。一つの事例を見ても、感じ方はそれぞれ違います。他の人の意見を聞いて、そんな視点があったのかと気付かされることもあれば、逆に自分の考えが評価されて、自信に繋がることもあります。お互いに良い刺激を与え合うことができる有意義な授業だと思います。



教育学部【学校教育課程】
生活社会教育コース 4年次
平野 悟さん（山梨県出身）

卒論のテーマは防災教育

高校時代の塾の先生が山梨大学の大学院生でした。僕が進路に迷っていた時、「山梨大学はいいよ。子どもに教えるのが好きなら、教育学部がいいんじゃない」とアドバイスしてくれて、それで心が決まりました。将来は小学校の教師を目指して勉強しています。もうすぐ卒論に入りますが、テーマは「防災教育」にしようと考えています。災害が起こった時、子どもたちが自分で考え行動することは命を守ることに繋がります。そのための教育を深く学びたいと思います。

心がふれ合った教育実習

教育実習では小学校3年生を受け持ちました。この年齢の児童は自我が芽生え、自己主張が強くなって、トラブルも増えてきます。時には、そうした場面に出会うこともあり、一人の子を叱ったことがありました。嫌われてしまったかなと心配したのですが、お別れの会の時、その子が泣いてくれたのを見て、心はつながっていたことを感じました。将来は、子どもの視点に立って考えられる教師になりたいと思っています。

子どもの視点に立って
考えられる教師になりたい。



相川さんのキャンパスライフ

管弦楽団での活動、友だちとの時間、授業以外でも充実しています。

サークルは管弦楽団に所属していて、フルートを担当しています。定期演奏回が年2回あり、そこに向けて練習をするのですが、音楽が好きな人たちが集まっていますので、とても楽しい時間です。大学で得た大きなものの一つは、かけがえのない友人たちです。一緒に旅行したり、心を開いて話したりできる友だちは、私の人生の宝物だと思います。



登校

大学までは徒歩で5分くらいですので、高校の時よりも通学時間が短くなりました。



昼休み

昼食を済ませた後は友だちとおしゃべり。勉強の話からドラマの話まで内容はいろいろです。



授業

各科目ごとの勉強、教職に関する心理学などの他に、幼稚園教諭取得のための勉強もあります。



放課後

サークルのある日は、集まって練習をします。それ以外の日は、ケーキ屋さんでアルバイトをしています。

平野さんのキャンパスライフ

教授との距離が近く、何でも気軽に相談できました。

山梨大学は、教授との距離がとても近く、自分の研究室の教授だけでなく、他の研究室の教授にも気兼ねなく質問したり、相談ののってもらったりできます。また、先輩や後輩との間に隔たりがなく、みんなでサッカーをしたりして楽しんでいます。山梨大学は、塾の先生に聞いていた通りの良い大学だなと感じています。



授業

2年次まではすべての教科を学びましたが、3年次からは社会科系の勉強が多くなりました。



放課後

研究室や図書館で勉強することが多いです。木曜日と金曜日はアルバイトをしています。



登校

通学時間は車で約1時間ほどです。近くの駐車場に止め、10分ほど歩いて登校します。



昼休み

コンビニで食事を買い、友だちと一緒に食べた後、みんなで話しながら過ごしています。

地域の人たちに親しまれ、必要とされる医師になりたい。



在学生 メッセージ

※インタビューは、2020年3月～6月に行ったものです。

医学部【医学科】
4年次
今澤 早希 さん (山梨県出身)

医師としての姿勢を学ぶ

幼稚園の頃、ホームドクターの先生に憧れたのが医師を目指したきっかけです。私には地域に密着した医師になりたいという希望があり、山梨の医療の拠点である山梨大学に進学しました。これまでの勉強で一番印象に残っているのは解剖学実習です。献体してくださったご遺体に接した時、医者は患者さんの思いを大切にすると共に、感情に流されず常に冷静な判断を持つことが必要だという、医師としての姿勢を学びました。

心に残った地域医療講座

山梨大学には地域医療講座というものがあり、学年ごとに実習のような形で様々なことを体験します。2年次では災害医療の訓練、3年次は救急車実習でした。病院から外に出たところでも、生命を守るために懸命に活動する方々と接し、医者になってからも、こうした方々と一体となって頑張っていきたいと感じました。将来は地域の人たちに親しまれ必要とされる医師になりたいと思います。



医学部【看護学科】
3年次
秋田 快生 さん (山梨県出身)

現場に即した勉強ができる環境

小さい時から看護師の母を見て、その仕事に興味を持っていました。進路を決める時、やはり看護職に就こうと考え、地元の山梨大学に進学しました。医学部には附属病院があり、特定機能病院にもなっていますので、最新の医療が勉強できるというのが大きな利点だと思います。病院で働く医師から、疾患について教えていただけたら、附属病院で実習ができたりと、とても恵まれた環境にあると思います。

実習で知った患者さんの気持ち

3年後期からは実習です。患者さんへの看護ケア等は学んできたのですが、実際にやってみると分かっているのにできないということもあり、現場は違うと実感しました。実習では一人の患者さんを3週間担当させてもらいました。退院指導の時、自宅に帰ってからの注意等を手作りパンフレットにして渡すと、涙を流して喜んでくれました。実習で学んだのは心のふれ合う看護です。卒業後は患者さんに心を打ち明けてもらえるような看護師を目指します。

患者さんに心を打ち明けてもらえるような看護師を目指したい。



今澤さんのキャンパスライフ

大学では、いろいろなことを積極的にやっています。

サークルは水泳部、海外医学交流会、IFMSAの3つに所属しています。IFMSAは医学生との交換留学などに力を入れていて、私も留学を考えていますし、海外からきた留学生のアシストも勤めます。医学部は勉強も忙しいのですが、運動も英語も大好きなので、高校時代にできなかったことを積極的にやっています。



登校

実家は山梨ですが、大学の近くのアパートに暮らしています。通学は徒歩で10分です。



昼休み

昼は一度アパートに戻って食事をとります。これも経費の節約です。



授業

3年次と4年次は、いろいろな病気について学びます。今は眼科と皮膚科です。



放課後

水泳部の活動のある日は市営プールで練習。それ以外の日は友達と一緒に過ごします。



登校

自転車か徒歩で通学します。実習の時は8時に病棟に行くので、7時半までに登校して準備します。



昼休み

手づくり弁当を持参し、実習グループの仲間と一緒に食事をします。あとはみんなで雑談です。



授業

8時から16時まで、附属病院での実習です。患者さんからは学ばせて頂くことが沢山あります。



放課後

実習が終わると研究室に行くと先生から助言をもらい、1日の様子や反省点をノートにまとめます。

秋田さんのキャンパスライフ

昼休みは手作り弁当を食べながら友達とほっと一息入れます。

実習が始まると、ほぼすべての時間をそれに費やすことになります。平日はサークルもアルバイトもなしの生活ですが充実しています。一人暮らしで自炊ですが、高校生の時、厨房のアルバイトをしていたので、料理は慣れていて、ほぼ毎日手作り弁当です。昼休み、実習グループの仲間が集まって食事をする時は、緊張がほぐれます。

世界を舞台に活躍する
土木技術者を目指したい。



在学生 メッセージ

※インタビューは、2020年1月～3月に行ったものです。

工学部【土木環境工学科】
3年次
高井 彬名 さん（岐阜県出身）

キャリアハウスで防災を研究

社会の基盤づくりに欠かせない土木の仕事で社会貢献をしたいと思い、この学科を選びました。山梨大学では、学科の勉強とは別に、1年次から先端研究に触れられる「キャリアハウス」という制度があります。私はその中の「地域防災マネジメント」に所属し、2014年の御嶽山噴火について研究しています。大学で研究に関われるのはありがたい4年次からなので、とても恵まれていると思います。また学会に出る機会もいただき、良い刺激を受けています。

視野を広げたG-フィロス

山梨大学はとてもいい大学だと思っています。その一つが留学生が多いということです。学内には留学生とのコミュニケーションが深められるG-フィロスという場所があって、私もよく利用しています。いろいろな国の人と話すことで、語学の勉強にもなりますし、異文化への理解が深まり、視野が広がったと感じています。将来は世界を舞台に活躍できる土木技術者を目指しています。



工学部【先端材料理工学科】
3年次
伊藤 圭祐 さん（愛知県出身）

目が行き届いた細やかな指導

高校時代、教員を目指していたことから工学部で教員の免許も取れる山梨大学に進学を決めました。大学に入って3年が経ちましたが、この間いつも感じていたのは、山梨大学は人にも教育環境にも恵まれた大学であるということです。先生は学生の一人ひとりに目を配り、細やかに指導して下さいます。僕は教員志望なので、先生の専門分野でないことも相談するのですが、どんなことにも親身に対応して下さり、ありがたく思っています。学生同士も仲が良く、楽しい大学生活です。

量子力学を学んでいきたい

3年次では、これまでに身につけた数学の力を物理・化学に応用します。知識がついてくると楽しくて、どんどんそこに入り込んでいく感じです。今は量子力学について学んでいますが、それを今後も続けていきたいと考えています。勉強を重ねるうちに、教員ではなく、企業に行きたいと考えが変わってきました。卒業後は化学系の企業に入り、幅広い研究に取り組みたいと思っています。

将来は化学系の企業で
幅広い研究に取り組みたい。



高井さんのキャンパスライフ

自己表現を磨くためのサークルを立ち上げようと準備中です。

大学に入ってから、いろいろな人と知り合ったのは大きな収穫だと思います。海外にも興味が湧き、マレーシア、台湾、オーストラリア等に旅行しましたが、実際に異文化に触れたことで、学がものも沢山ありました。もっと自己表現を磨きたいと思い、現在、そうしたサークルを立ち上げようと、友人と一緒に準備中です。



登校

徒歩で通学しています。9時から1限の授業なので、少し時間に余裕を持って登校します。



昼休み

学食で昼食を取ります。そのあとはG-フィロスに行き、外国の友人と話したりして過ごします。



授業

授業は4限までありますので、終わるのは16時20分です。4年次からは研究室に配属になります。



放課後

放課後はフィロスで自習します。G-フィロスのイングリッシュサポートも活用しています。



登校

大学まで原付バイクで3分です。9時に1限の授業が始まるので、10分前に着くようにしています。



昼休み

住んでいるところが近いので、いったん戻って食事をし、ちょっとくつろいで大学に戻ります。



授業

1限から4限まで授業を受けます。今は主に量子力学について勉強しています。



放課後

17時から22時まで塾講師のアルバイトですが、時々バスケットボールを楽しんだりしています。

伊藤さんのキャンパスライフ

初めての一人暮らしで自主的な暮らしが身につきました

山梨に来て、初めての一人暮らしが始まり、今まで全て親に頼っていたのだなと実感しました。最初のうちは不便に思うことばかりでしたが、自分で計画を立て行動するうちに、自主的な暮らしが身についたと思います。放課後は塾講師のアルバイトに出かけ、帰宅後はリラクソの時間に充てています。

大学院に進学し、
将来は食品会社の研究職に就きたい。



在学生 メッセージ

※インタビューは、2020年3月に行ったものです。

生命環境学部【地域食物科学科】
3年次
萩原 麻衣 さん（静岡県出身）

一番興味があるのは栄養の勉強

小さい時から、食べることも作ることも好きだったので、大学では食品のことについて詳しく学びたいと考えました。この学科では、植物科学や農学などについて幅広く勉強します。果樹や農作物についての授業では、大学のぶどう農場に連れて行ってもらったり、野菜の収穫も体験させてもらいました。もともと興味のある分野だったので、とても楽しく学んでいます。今、一番興味があるのは栄養のことで、研究室もそちらを選択しました。

先生の目が行き届いた教育環境

山梨大学のいいところは、先生の目が行き届いていることだと思います。どんなことでも相談にのってくださり、理想的な教育環境です。授業の面でも余裕がありますので、1年の時には1ヶ月間カナダに留学しました。海外旅行が大好きで、これまでに東南アジア、スウェーデンなどにも出かけ、今は資金を貯めるためにアルバイトもしています。卒業後は大学院に進み、将来は食品会社の研究員になりたいと思っています。



生命環境学部【地域社会システム学科】
4年次
西尾 優俊 さん（山梨県出身）

幅広い分野の学びで広がった視野

高校時代、文系クラスだったので、先生から生命環境学部で文系の学科があると聞き、進学を決めました。この学科では、経済・経営・政治・法律等に加え、数学系の勉強もあります。こうした幅広い分野を学ぶことで、視野が広がったと感じます。3年次からはデータを整理して、見やすく可視化する研究に取り組みました。先生からマンツーマンで指導をいただき、とても充実した時間でした。

のびのびと活動できた4年間

大学での4年間は、ゆとりを持って楽しく学べたという印象です。のびのびと活動できる環境だったので、先輩に誘われて校外活動に参加したこともあり、学友と一緒に南アルプス市のイベントに関わらせてもらったこともあり、こうした経験や多くの人との出会いを通して、自分の本当にやりたいことが見つかったのだと思います。卒業後はイベントプロデュースの仕事に就きます。楽しいイベントを企画し、沢山の人が笑顔にしたいと思います。

制作会社で楽しいイベントを企画し、
沢山の人が笑顔にしたい。



萩原さんのキャンパスライフ

語学力を磨くため
TOEICの勉強をしています。

いろいろな所に出かけたいので語学力を磨きたい
と思い、放課後等は図書館でTOEICの勉強をして
います。サークルのない日は、居酒屋さんでアル
バイトです。ここでも調理場に立っていますので、や
はり食品に関わる仕事です。外国旅行の資金づく
りのためのアルバイトでもあるのですが、勉強も
アルバイトも楽しく充実した毎日です。



登校

登校は徒歩で15分
です。2限からの授
業の日も、9時まで
には登校するように
しています。



昼休み

天気のいい日は、広
場で、友人たちとお
しゃべりしながら食
事をします。



授業

図書室で自習し、2
限の授業に臨みます。
午後は4時過ぎ
まで実験をしてい
ます。



放課後

バレーボールサー
クルに入っているの
で放課後は練習で
す。サークルのない
日にはアルバイトを
しています。



登校

大学まで車で30分
ですが、渋滞を考
慮して、いつも余
裕を持って家を出
ます。



昼休み

学科の友だちと一
緒に、学食で食事を
します。そのあとは
皆で話などなが
ら過ごします。



授業

朝は9時から授業で
す。3年次からは平
井ゼミで、先生から
細やかな指導をし
ていただきました。



放課後

宅配ピザのアルバ
イトに行きます。ア
ルバイトのない日は
サッカーの社会人
チームで練習です。

西尾さんのキャンパスライフ

サークルでのヒッチハイク旅行は
心に残る楽しい思い出です。

先輩に誘われて入ったサークルは「行ってこうし」
といって、鞆一つでどこかへ行ってみようという気
軽な旅サークルでした。大学に入って初めてヒッチ
ハイクで下呂温泉に行ったことは、今でも忘れられ
ない思い出です。放課後は社会人のサッカーチ
ームでプレーしたり、子どもたちの指導もしました。
楽しい大学生活でした。